

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標:発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像:よい未来を共に創り出す人間

第1号 2025年7月18日(金)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

I believe in future.

附属山口小学校長 久保田 尚

やまぐち学園3校園のうち、附属山口小学校は、創立150周年を迎え今年11月に記念式典を開催する予定です。一口に150年とありますが、人の人生よりも長い歴史をもっていると思うと、そのすごさを実感します。150年の間に何千人もの卒業生、幾多の教職員が本校に関わっています。そして教育実習を担う附属学校としては実習生の数も見逃すわけにはいきません。そんないろいろな多数の人々の思いを受け継ぎながら、現在の附属山口小学校があるのです。

そんな節目の今年、山口県で一番長い歴史をもつアマチュアオーケストラ「山口県交響楽団」を迎えての芸術鑑賞会が実現しました。この楽団には、附属山口中学校の前原校長先生、そして私が大学生時代から関わっていた関係もあって、総勢40名ほどの団員が集結してくれました。山口市民会館に、中学生・小学生、そして幼稚園の年長さん、さらには保護者の皆様や卒業生などにもお声をかけ、1,000人近い人数が集まり、ベートーヴェンの「運命」やエルガーの「威風堂々第1番」など聴き馴染みのある曲を中心に組まれたプログラムを楽しみました。その途中に、オーケストラの伴奏で「Believe (ビリーブ)」という曲をみんなで合唱しました。カラオケならぬ「生」オケの伴奏です。その素晴らしい歌声に楽団の仲間も口々に「合唱の歌声がすてきだった、感動した」と言っていました。「Believe」の歌詞の最後に「I believe in future. (未来を信じている)」という言葉があります。これまでの長い素晴らしい歴史に続いて、こんな素敵な子どもたちのいる“やまぐち学園”の未来は、希望に満ちあふれています！ I believe in future.

【附属幼稚園】

今年の年長児は生き物が大好きな子どもたちが多く、生き物を通して小学生とのつながりが生まれました。

年長児が小学校で掃除前のプールを眺めて「何がいるのかな」「魚？」など興味をもつ姿があったので、6年生がプール掃除をする日に、生き物がいたら見せてもらえるようお願いしました。6年生は「私たちに任せて」とバケツや手ですくってフェンス越しにオタマジャクシやヤゴを何度も運び、持って来てくれました。年長児は興味津々。バケツの中が見えないほどみんなが集まり覗いていました。「早く6年生になりたい」と憧れる姿や「今度は僕たちが幼稚園のプール掃除する番でしょ」と幼稚園でもプール掃除は最年長の自分たちの役目だと誇りに思い、意欲に溢れている姿がありました。6年生からもらったり、自分たちが掃除する時に救出したりしたオタマジャクシは大事に飼い、カエルになっていきました。また、1年生からは「メダカの卵や赤ちゃんを見にきて」と招待を受け見に行きました。園に戻った年長児から「お返しに僕たちの飼ってる生き物を見せたい」と声があがり、今度は1年生に見に来てもらうことに。その生き物の中には6年生にもらったオタマジャクシやカエルもいます。年長児たちは張り切って「看板書く」「案内役がしたい」「恐竜ランドにも来てもらいたい」など得意なことやしたいことで自分のできる役をみつける姿がありました。生き物を通じた交流が次の意欲につながり、より豊かな遊びへと広がりました。



【附属山口小学校】

5月18日（日）に運動会を行いました。今年度の新しい取組として、団体種目を1・2年生、3・4年生、5・6年生で行いました。幼稚園から進学したばかりの1年生は、2年生の姿を手本に力を合わせておみこしを運んだり、かわいいダンスを踊ったりする姿が見られました。3・4年生は、息を合わせたフラッグでの演技と帽子奪いで、素敵な姿を見せていました。5・6年生は、音楽に合わせた一人技や全員技での組体操と綱引きで上級生としての誇りを見せていました。さらに、応援合戦では、応援係の6年生を中心に全校児童が一つとなって運動会を盛り上げることができました。

また、今年度もフレンドリータイム（縦割り班活動）を行っています。6年生を中心に遊びを考え、外遊びや室内遊びを楽しんでいます。異学年での交流の楽しさや仲間と過ごすことのよさを感じ、より豊かな小学校生活を送ることができるようになっています。

6月11日（水）には、やまぐち学園の全教職員に向けて、道徳科「うかんだうかんだ」の授業（1年生）を公開しました。失敗してもあきらめない登場人物の気持ちに共感的に寄り添いながら、努力することの価値について話し合うことができました。各教科等を学ぶ本質的な意義の中核とされる「見方・考え方」を自在に使いこなせる姿に高めることや「見方・考え方」を中心とした単元配列の工夫を通して、自ら学びをつなぐことのできる子どもをやまぐち学園の全教職員で育んでいきたいと考えています。



【附属山口中学校】

現代は、AIの発展や複雑な国際情勢などによって、将来の予測が困難な時代です。このような時代を生き抜くこれからの社会人には、「自ら課題を見つけ、解決策を追求していく力」が求められます。このような力を身につけていくために効果的とされるのが、答えが一つではない課題や、語句を覚えているだけでは解決できない複雑な課題に取り組んでいく「探究的な学習」です。本校では今年度、各教科の授業における「探究的な学習」のあり方について研究しています。

6月20日（金）には「校内授業検討会（小研究会）」を実施しました。これまで附属中学校に勤務していた先生方（本校では「研究同人」と呼んでいます）に授業を参観していただき、より良い授業のあり方や、生徒たちの学びの質の向上について、協議しました。

社会科



「日本はなぜ環境対策に関して、厳しい評価を受けるようになったのか？」
（エネルギー・資源の問題）

数学科



「一週間の日数と対角の積の差は等しくなるのか？」
（カレンダーを使用した問題）

理科



「オリジナルの動物園を作ろう！」
（動物の分類と特徴）

各学年・学級で、工夫を凝らした授業が実施されました。様々な視点から意見を述べたり、活発に議論したりする生徒たちの姿が見られました。これらの姿は、幼稚園から培われてきた知的好奇心や、小学校で身につけてきた各教科の知識や、見方・考え方が存分に発揮されているからこそ、見られる姿だと思います。今後も幼小中一貫教育の良さを生かしながら、より質の高い授業作りに努めていきます。